

環境経営レポート

中西宝山園株式会社

2024 年度 第 11 期

(対象期間 2023 年9月1日 ~ 2024 年8月31日)



目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10



土木事業



舗装事業



造園・緑化事業

制定日：2023年9月1日



代表取締役社長 小西 新次

中西宝山園は、琵琶湖の広がる自然景観美を望む守山のまちに、昭和7年の創業以来滋賀県を中心に地域と寄り添いながら、土木・舗装・造園のプロとして、暮らしの環境整備に努めてまいりました。

昨今、SDGs・カーボンニュートラルに始まる環境意識や働き方改革、複雑化するお客様のニーズ等、時代は“造る”から“育てる”という時代に変化し続けております。

私たちは、この目まぐるしいスピードで変化・多様化する建設業界において、長年にわたり培ってきた「技術」と「信頼」をさらに追求し、『人と自然が調和する環境づくり』と地域社会の発展に貢献してまいります。

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

環境保全への行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心とした土木・舗装・造園工事の事業をおこなっています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、E A 2 1 環境経営システムを構築運営し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

2. 環境活動を計画的に取り組み実施します。

- * 脱炭素化社会に向けて、事務所・現場での電気使用量及び建設重機・車両の燃料使用量を削減し、CO₂の排出量を削減します。
- * 建設現場の廃棄に関し、廃棄物の発生抑制に努め、分別を積極的に実施することにより建設リサイクル率の向上に努めます。
- * 建設現場から排水する水の汚染・汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
- * 施工で使用する化学物質を適正に管理します。
- * 環境に配慮した施工を推進します。
- * 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加し、社会貢献に努めます。

3. この経営環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

中西宝山園株式会社
代表取締役 小西 新次

(2) 所在地

本社 滋賀県守山市荒見町132番地の1

	本社	倉庫	工事詰所	駐車場	資機材置場
延床面積 m ²	579.51 m ²	46.58 m ²	306.00 m ²	14,194.60 m ²	2,649.00 m ²

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者 管理部長 杉本 成光 TEL：077-583-3116
連絡担当者 管理部長 杉本 成光

(4) 事業内容

土木工事、舗装工事、造園工事

(5) 事業の規模

売上高 2,188 百万円 (2024年度)
従業員数 28 名 [役員及び出向者を除く]

(6) 事業年度

9月1日～8月31日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：中西宝山園株式会社
対象事業所：本社
活動範囲：土木工事、舗装工事、造園工事

□ 事業の紹介

施工事例

土木工事



環境学園都市宣言記念公園
遊びの広場整備工事

排水構造物工/舗装工/張芝工
遊具組立設置工/シェルター工 他

舗装工事



琵琶湖大橋料金所舗装修繕工事

舗装工/薄層舗装工
区画線工/標識工 他

造園工事



JR草津駅前広場「niwa+」

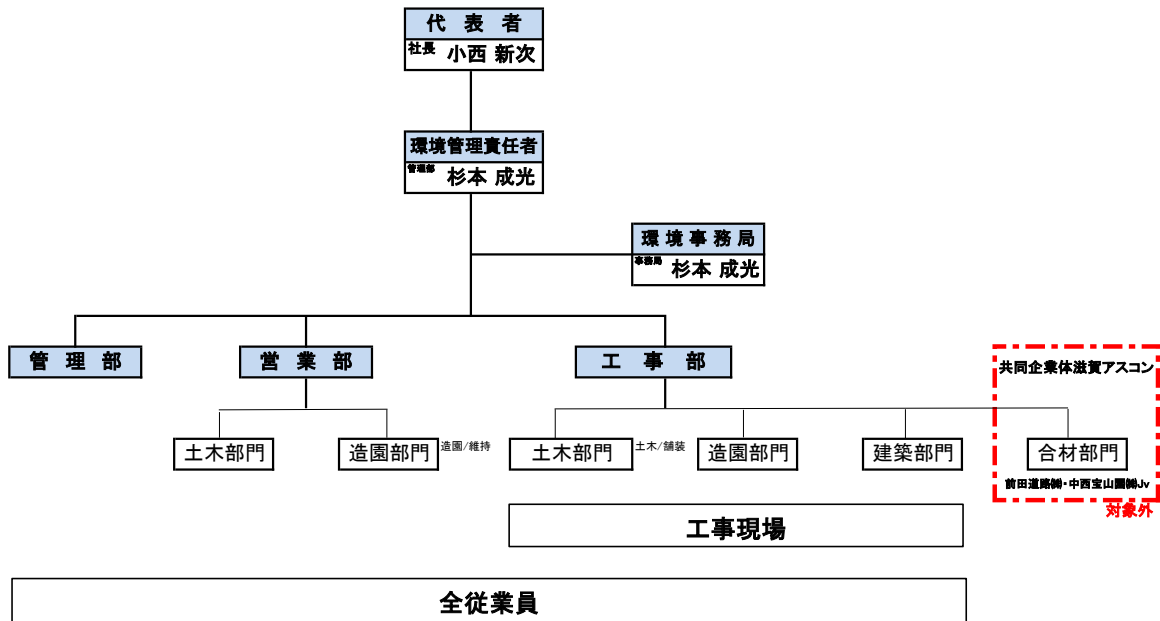
資材: 舗石(黒)/雪見灯籠/白川沙 他
植栽: モミジ/アカシア/ツバキ
アジサイ/ツワブキ/芝生 他

許可免許

・建設業許可 [滋賀県知事許可 特25 第022854号]
・産業廃棄物収集運搬業 [滋賀県知事許可 第02500181359号] (註) 自社運搬による

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年6月1日



役割、責任及び権限一覧

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> ①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	149,229	153,020	127,136
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	125,491	134,863	108,145
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	23,738	18,157	18,991
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	98	67	76
産業廃棄物排出量	t	3,040	3,280	3,791
水使用量	m ³	1,202	1,066	977

※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力2020年度の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用している

※上表の二酸化炭素排出量には目標に掲げていない灯油及びLPG による排出量が含まれている。

環境経営目標及びその実績

項目	年度	2023年			2024年度			評価	2025年度	2026年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)				
電力による二酸化炭素	kWh	51,730	50,695	54,106	×	50,178	49,661			
	kg-CO ₂	18,157	17,794	18,991		17,613	17,431			
	基準年度比	100%	98%	105%		97%	96%			
自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン (ℓ)	24,797	24,301	19,990	○	24,053	23,805			
	軽油 (ℓ)	29,819	29,223	23,740	○	28,924	28,626			
	kg-CO ₂	134,462	131,773	107,626	○	130,428	129,083			
	基準年度比	100%	98%	81%		97%	96%			
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	152,619	149,567	126,617	○	148,041	146,514			
売上高原単位	kg-CO ₂ /百万円	8.81		5.79	○					
建設副産物の再資源化率の向上	%	95%	80%	97%	○	80%	80%			
	発生量(t)	3280		3791						
水道水の削減	m ³	1,066	1,045	977	○	1,034	1,023			
	基準年度比	100%	98%	92%		97%	96%			
化学物質の適正管理		使用時には適正管理する								
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)								

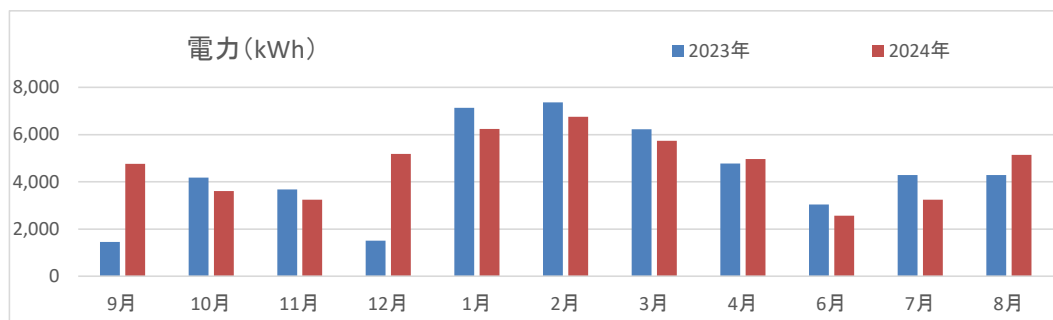
※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力2020年度の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用している

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

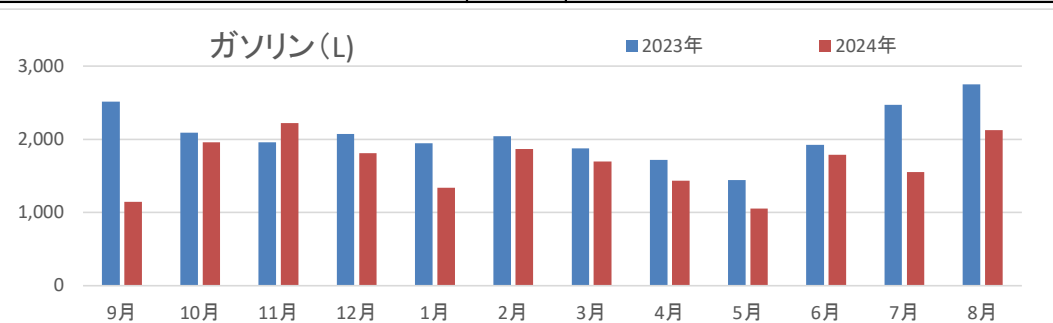
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電気の使用量については、基準年及び目標共に率にして約5%の増加となっており、削減には至らなかった。しかし、売上高が約28%と大幅な増加となっていることから、時間外作業における事務所の照明やOA機器(複合機等)の使用等何らかの関係があると思われる。 また、ここ近年の猛暑の関係からエアコンの設定温度が2~3℃下げる結果となった為、それに伴う電気の消費が大きかったと思われる。 尚、来期については12月より新社屋建設に伴う仮事務所での業務となる為、特に電気の使用量は従来との相違がある為、比較が難しいところではあるが、今後も引き続き全員で節電に努める。
・空調温度(室内温度)の適正化[冷房26℃ 暖房22℃]	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	△	
・作業・業務の見直しによる効率化	○	

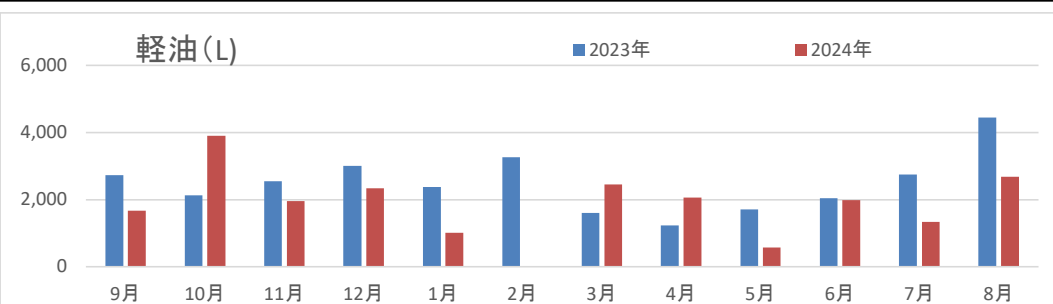


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2023年	1,463	4,173	3,667	1,507	7,130	7,369	6,231	4,774	3,041	3,041	4,281	4,281
2024年	4,767	3,600	3,241	5,176	6,241	6,755	5,731	4,966	2,686	2,563	3,244	5,136

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	車両のガソリン・軽油の使用量については、今年度より中西建設と宝山園が合併により一つの会社となった関係から、これまでの作業車(ダンプ・トラック)の見直し及び余剰車両の削減等による車両数の減少によるもの、及びここ数年における業務車両入替時のハイブリッドへの移行によるものが起因していると思われる。 今後も車両の適正配車を徹底し、各ドライバーにはエコドライブの徹
・エコドライブの徹底	○	
・効率的な重機運用	○	

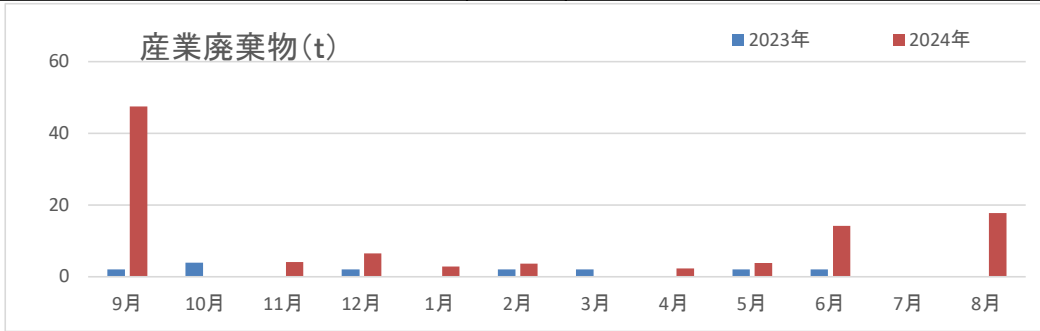


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2023年	2,514	2,090	1,959	2,071	1,945	2,041	1,875	1,718	1,441	1,920	2,471	2,751
2024年	1,146	1,959	2,221	1,812	1,338	1,865	1,696	1,436	1,050	1,789	1,549	2,128



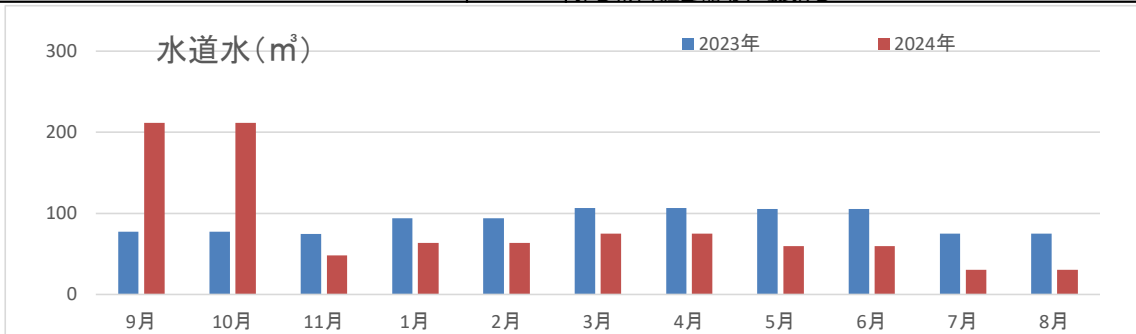
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2023年	2,729	2,131	2,547	3,001	2,375	3,256	1,597	1,232	1,715	2,042	2,747	4,446
2024年	1,676	3,903	1,955	2,333	1,020	0	2,448	2,058	580	1,977	1,336	2,686

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	産業廃棄物の排出量が大幅に増加した要因は、守山市が発注した汚染土の処分を行う工事(879百万円)によるものであり、今年度の評価については、数値での比較は出来ない状況といえる。工事内容により産業廃棄物は増減するが、今後も3Rを推進する。
数値目標	○	
・梱包材の再利用	○	
・持込ごみの見直し	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2023年	2	4	0	2	0	2	2	0	2	2	0	0
2024年	47	0	4	7	3	4	0	2	4	14	0	18

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	水道水においては、年間における使用量では目標を大きくクリアしている。しかし、9・10月請求(7・8月実績)については、旧宝山園飲食の建物への配管が老朽化が原因で水漏れが発生し、大量の水が流れ出たことにより大幅な差異が生じてしまった。今後特異な状況の発生はないと思われるが電力の項目にも記載した通り返事務所での業務となる為、数値の変動が予想されるが引き続き節水に努める。
・ポスター掲示による節水の周知徹底	○	
・自動水栓の取付への移行	△	
0		
0		



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2023年	78	78	75	75	94	94	107	107	106	106	75	75
2024年	212	212	48	48	64	64	75	75	60	60	31	31

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・環境配慮型建設機械の使用	○	現場で使用する建設機械・重機類については、ほぼ環境にやさしい排出ガス対策型建設機械や低騒音型・超低騒音型の重機を採用している。また、湖、河川、田圃などでの工事の際は、油流出に備え処理キットを常備するよう指導している。来期も全ての工事で環境配慮型建設機械の使用及び油流出・濁水防止を図る。
・油流出防止	○	
・濁水発生防止	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	

詳細は次項の「各事業所の取組紹介」及び「これまでの環境活動の紹介」による。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	少子化・高齢化社会が進む中、魅力ある会社づくりに努め、新規の採用に寄与する組織・体制の確立を目指す。尚、職場環境創りに関しては、ワークライフバランスを尊重し、イクボスをはじめ多様な取組を行っている。今後も継続する。
・従業員教育による個々人のスキル向上	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・働き方改革による快適職場構築	○	

詳細は次項の「各事業所の取組紹介」及び「これまでの環境活動の紹介」による。

各事業所の取組紹介

 **当社が取り組んでいる制度とSDGsへの紐付け**

- 一般社団法人 持続性推進機構
 ～「環境省」制定のガイドラインに基づく「環境経営」の認証・登録制度～

 エコア認証制度

6 6. 持続可能な水と衛生
7 7. 再生可能エネルギー
11 11. 持続可能な住居と都市
12 12. つくばない、減らす、リサイクル
13 13. 気候変動に具体的な対策を
14 14. 海の豊かさを守ろう
15 15. 陸の豊かさを保ち増やそう
- 一般社団法人 日本品質保証機構
 組織の品質活動や環境活動を管理するための仕組み

 国際標準化機構 (ISO) 認証

7 7. 再生可能エネルギー
9 9. 産業と資源効率の改善
11 11. 持続可能な住居と都市
12 12. つくばない、減らす、リサイクル
13 13. 気候変動に具体的な対策を
- 滋賀県
 職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業の登録制度



3 3. 健全な働き場をつくる
8 8. 働きがい、経済成長、社会正義
10 10. 人や国の不平等をなくす
- 滋賀県
 自らがイクボスであること、イクボスになろうとしていることを宣言するもの



3 3. 健全な働き場をつくる
8 8. 働きがい、経済成長、社会正義
10 10. 人や国の不平等をなくす
- 日本健康会議
 健康長寿社会の実現に向けた取組として健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取組を戦略的に実践する「健康経営」を推進する



3 3. 健全な働き場をつくる
8 8. 働きがい、経済成長、社会正義

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
大気汚染防止法	特定建設工事
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	特定建設工事
振動規制法	特定建設工事
水質汚濁防止法	事故時の処置
毒劇法	農薬の適正管理
フロン排出抑制法	業務用空調機、建設機械の空調機
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

今年度における活動において、環境に関わる苦情・要請等は特にみられなかった。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024/8/30	■実施場所： 事務所2階会議室
■参加者： 全社員	■実施内容： 燃料流出時の緊急対応講習
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

■実施状況	
講師	杉本 成光
使用手順書	緊急事態対応手順書(重機・車両事故等)
使用機器	油液処理キット
資料	レジメ
写真	



安全教育

2024年8月30日

オイル漏れした際の処理と対策

※コップ1杯の油で水中では1000畳に広がる
40m×40m オリンピックプールの1.5倍

車両及び重機のオイルパイプ破損で2~3リットル程度の流出を想定
(測量器具保管庫にオイル漏れ対策キットあり)

- ①流出源を止める
- ②オイル漏れの拡散を防止する
油吸着マットを使用し拡散を防止(マットは水は吸わず油だけを吸う)
※特に側溝に入らないように
- ③アスファルトに漏れたオイルの回収
分解溶液を使用し、油を浮かせ吸着処理
※土壌に漏れた際は汚染土として回収が必要
- ④規模が大きい場合に連絡(ガソリンタンクの破損等で大量に流出)
※雨が降って広範囲に広がった場合も含む
消防、市町村、河川管理者、都道府県、元請先

県の連絡先 滋賀県琵琶湖環境政策課		
南部環境事務所	草津市、守山市、栗東市、野洲市	077-567-5444
甲賀環境事務所	湖南市、甲賀市	0748-63-6134
東近江環境事務所	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町	0748-22-7758
湖東環境事務所	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町	0749-27-2255
湖北環境事務所	長浜市、米原市	0749-65-6650
高島環境事務所	高島市	0740-22-6066
大津市役所	大津市	077-528-2735

※プライベートなどで油漏れ、油の流出を発見した場合は119番消防へ連絡を



油漏れ対策書

	油漏れ事故発生した際は、直ちにその処理を行わなければならない。
a) 油漏れ発生	油漏れが発生したら直ちに応急処置を行い油漏れを食い止める。 
b) 応急処置	この時にトラック積載道具のテープや毛布、布などを使用し応急処置を行う 
c) 緊急連絡	応急処置完了後、直ちに事務所へ連絡し、指示を仰ぐ 
	連絡後は拡散した油のふき取りに努める 
	現場待機は自身の安全も確保し、火災や事故が発生しないようにする ※必要に応じて二次災害を防ぐため油漏れ箇所で交通事故や火災事故が起きないように交通整理などの安全活動が必要

代表者による全体の評価と見直し・指示

今期は中西建設、宝山園という二つの会社が、新たに中西宝山園(株)としてスタートし、環境経営活動も同様に新しい体制でのスタートとなりました。

以前は各社それぞれにて目標を設け活動してまいりましたが、今期は前年度の実績値を合算した数値が目標として掲げられたことから、各種項目にてイレギュラーな数値がいくつか見受けられました。その為、来期からの活動に際しては基準値を再度見直し、今期の数値をもってスタートする予定でございました。しかし、新たに新社屋の建設及び敷地再整備の計画も浮上し、環境が大きく変わることとなります。そのような中、新たな環境づくりに貢献すべく、社屋はZEBIに対応した設計・建設されたものであり、また太陽光発電も取り入れ、一時的にエネルギー自立出来る環境にもなる予定です。

このような状況下において、本来ならば中長期の目標を定めるべき時期ではありますが、来期においても暫定的な数値目標にての活動となる為、新たな社屋及び周辺敷地が整備される時期を待って、活動計画を見直すことと致します。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	

これまでの環境活動の紹介

☆ 淡海エコフオスター制度 ～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県が推進する公共的場所の美化および保全の為、ボランティアで清掃するエコフオスター活動に、会社周辺の主要道路約1kmの範囲で、空き缶やたばこの吸い殻等の散乱ごみの回収といった環境美化活動を月1回実施し、より美しいまちづくりの活動に参加しています。



2023/10/16



2024/3/18



☆ 「環境美化の日」環境美化活動

滋賀県が推進する公共的場所の美化および保全の為、ボランティアで清掃するエコフオスター活動に、会社周辺の主要道路約1kmの範囲で、空き缶やたばこの吸い殻等の散乱ごみの回収といった環境美化活動を月1回実施し、より美しいまちづくりの活動に参加しております。



「びわ湖の日」



- ・ごみゼロ大作戦
5月30日
- ・びわ湖を美しくする運動
「びわ湖の日」 7月1日
- ・県下一斉清掃運動
「環境美化の日」12月1日

☆ 地域貢献

守山商工会議所建設部会が主催し、市内小中学校からの依頼による地震災害総合訓練・集中豪雨水害防止奉仕作業や、建設業協会・消防局他が合同にて行う消防連携訓練等に積極的に参加しております。



2024/1/22



2024/8/21



2024/8/25

- ・集中豪雨水害防止奉仕作業
市立河西小学校
- ・集中豪雨水害防止奉仕作業
市立小津小学校
- ・地震災害総合訓練(障害物除去)
市立明富中学校

□編集後記



「地球・土地」を意味する言葉であるGEO(ギリシャ語でジオ、ゲオ)に、中西宝山園の頭文字“N”を結び付けた造語で、人間と自然の調和を図り、英知と勇気と情熱を持って、未来を切り拓く企業ポリシーが込められています。

めまぐるしく変化する社会情勢の中、より高度な技術を養い、グローバルな視野に立ち、人間を重視した、より豊かな生活環境づくりを行っていきます。